

薬局機能強化部会の開催状況について

1 令和5年度薬局機能強化部会

- (1) 日 時 令和6年1月17日(水) 19:00～20:00
 (2) 場 所 秋田県庁議会棟 特別会議室(ハイブリッド形式)
 (3) 部会委員

| 所 属 | 氏 名 | 備 考 |
|-----------------------|--------|---------|
| 秋田県医師会 | 田村 広美 | 委員 |
| 秋田県医師会 | 伊藤 良正 | 委員 |
| 秋田県薬剤師会 | 安田 哲弘 | 委員(部会長) |
| 秋田県病院薬剤師会 | 平泉 達哉 | 委員 |
| 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 | 長谷川 淑子 | 専門委員 |
| 秋田市保健所 | 庄司 学 | 専門委員 |

(4) 内 容

ア 報告事項

●薬局機能情報提供制度の改正について

医薬品、医療機器法施行規則の一部を改正する省令が令和5年11月1日に公布、令和6年1月5日から施行され、薬局機能情報提供制度が改正された。これに伴い、薬局開設者の報告方法として、令和5年度の定期報告から、医療機関等情報支援システム(G-MIS)を用いた報告が開始し、その情報は薬局機能情報の全国統一的な検索・情報提供システム(医療情報ネット)にて公表されることとなった(令和6年4月1日稼働予定)。

●電子処方箋に係る最近の状況について

令和5年12月17日現在、83薬局が秋田県で運用開始となっている。薬剤師会が、一昨年に薬剤師会の方で事前アンケートを取って、導入の意向を確認した数と同等数の薬局が対応可能となっているので、イニシャルで入れようと思ってる薬局はもう対応する準備ができてる状況である。

●認定薬局制度の概要と認定状況について

地域連携薬局(令和4年11月30日現在)

| No. | 管轄保健所 | 初回認定年月日 | 所在市町村 | 薬局名 | 開設者 |
|-----|-------|----------|----------|--------------|----------------|
| 1 | 由利本荘 | R3.8.4 | 由利本荘市 | 日本調剤 本荘薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 2 | 湯沢 | R3.9.14 | 雄勝郡羽後町 | クオール薬局うごまち店 | クオール株式会社 |
| 3 | 由利本荘 | R3.11.18 | 由利本荘市 | 日本調剤 本荘南薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 4 | 秋田中央 | R4.1.21 | 南秋田郡八郎潟町 | 日本調剤 湖東薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 5 | 大館 | R4.3.28 | 大館市 | わかば薬局 | 有限会社クローバー薬局 |
| 6 | 大館 | R4.5.11 | 大館市 | 日本調剤 大館薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 7 | 秋田中央 | R4.8.17 | 秋田市 | アイン薬局 中通店 | 株式会社アインファーマシーズ |
| 8 | 湯沢 | R4.9.6 | 雄勝郡羽後町 | 日本調剤 羽後薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 9 | 大館 | R4.9.14 | 大館市 | アイン薬局 大館木広町店 | 株式会社アインファーマシーズ |
| 10 | 能代 | R4.9.27 | 能代市 | 赤玉薬局 川反町店 | 株式会社アイセイ薬局 |
| 11 | 能代 | R4.11.1 | 山本郡三種町 | 赤玉薬局 八竜店 | 株式会社アイセイ薬局 |
| 12 | 大館 | R4.11.25 | 鹿角市 | 日本調剤 鹿角薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 13 | 大館 | R4.12.5 | 鹿角市 | 有限会社黒沢薬局 | 有限会社黒沢薬局 |
| 14 | 大仙 | R5.7.19 | 大仙市 | 日本調剤 大曲薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 15 | 秋田中央 | R5.9.25 | 秋田市 | 日本調剤 秋田薬局 | 日本調剤株式会社 |
| 16 | 能代 | R5.10.19 | 能代市 | 赤玉薬局 中和本店 | 株式会社アイセイ薬局 |
| 17 | 大館 | R5.11.17 | 仙北市 | アイン薬局 角館2号店 | 株式会社アインファーマシーズ |
| 18 | 秋田中央 | R5.11.28 | 秋田市 | 追分佐野薬局 | 株式会社サノファーマシー |

専門医療機関連携薬局

認定なし

- ・専門医療機関連携薬局の条件のひとつである、がん専門薬剤師の配置が大きなハードルとなっている。

●認定薬局に関するアンケート調査結果について

県内の薬局における地域連携薬局の認定基準への適合状況を把握するとともに、薬局において実施が困難となっている事項等について調査を行うことで、今後の地域連携薬局推進のために必要な基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

取得が困難な事項として、医療機関等への月30回の報告、専門薬剤師の配置、人員不足、設備的な部分がクリアできない等の回答があった。

イ 協議事項

● 認定薬局の現状と課題について

- ・認定薬局制度は、地域の住民の方であったり、患者さんにはメリットがある。薬局側は、調剤報酬に反映されないというところで、業務を割り振りにくいという部分が、実際のところは大きい。今後の診療報酬改定によって、状況が変わってくる可能性がある。

- ・医療機関等への月30回の報告はハードルが高い。アンケートの結果を見ると、難しい要件の中に、月30回の情報提供という項目でかなりの比率で上がってきてるが、そこさえクリアできればやってもいいと思ってる薬局がそれなりにいる可能性はあるのではないかと。報告書の一部を見たが、この内容をもう少し見直しや、もう少し手間のかからない形式を検討してみてはどうか。その辺は受け取る側と報告する側との間における話し合いで、検討する余地があるのではないかと。

- ・専門医療機関連携薬局のところで、がんの専門性の認定を取得という部分がネックになってるという話があったが、現在、がん治療の専門薬剤師が3名となっている。研修施設を、県病院薬剤師会としても増えるような働きかけをしていければと思っている。

登録販売者試験部会の開催状況について

1 令和5年度試験部会

部会委員

| 所 属 | 氏 名 | 備 考 |
|--------------|--------|---------|
| 秋田県病院薬剤師会 | 平泉 達哉 | 委員(部会長) |
| 秋田県薬剤師会 | 安田 哲弘 | 委員 |
| 秋田県薬剤師会 | 嶋田 逸大 | 委員 |
| 秋田県健康環境センター | 松渕 亜希子 | 専門委員 |
| 秋田地域振興局福祉環境部 | 川口 幸 | 専門委員 |

(1) 方 法

書面開催（意見聴取：令和5年7月3日（月）まで）

(2) 内 容

- ア 令和4年度登録販売者試験の実施状況等について
- イ 令和5年度登録販売者試験実施計画について
- ウ 令和5年度登録販売者試験問題（案）の精査について

2 令和5年度試験

(1) 日 時 令和5年8月30日（水）

午前10時30分から午後3時55分まで

(2) 場 所 ANA クラウンプラザホテル秋田

(3) 結果等

ア 出願者数、受験者数及び合格者数

| 実施年度 | 出願者 | 受験者 | 欠席者 | 合格者 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|------|-------|
| 令和5年度 | 378名 | 353名 | 25名 | 140名 | 39.7% |
| 令和4年度 | 509名 | 460名 | 49名 | 187名 | 40.7% |

イ 各試験項目得点状況

| | 平均点 | 最高点 | 最低点 | 配点 |
|-------------------|------|-----|-----|-----|
| 試験全体 | 72.6 | 116 | 26 | 120 |
| 医薬品に共通する特性と基本的な知識 | 15.8 | 20 | 5 | 20 |
| 主な医薬品とその作用 | 22.9 | 39 | 8 | 40 |
| 人体の働きと医薬品 | 13.1 | 20 | 1 | 20 |
| 薬事に関する法規と制度 | 12.9 | 20 | 4 | 20 |
| 医薬品の適正使用と安全対策 | 12.9 | 20 | 2 | 20 |

ウ 合格基準

総得点が7割以上かつ各項目の得点が4割以上

エ 採点にあたって考慮した問題

なし

オ 合格発表日 令和5年10月3日（火）